

中国が戦争の準備をはじめた！新・日中戦争カウントダウン！

『日本が在日米軍を買収し第七艦隊を吸収・合併する日』

戦後最大の危機に日本が取るべき戦略シナリオを緊急提言！！

(著者)宮崎正弘

(価格)1,400 円＋税 (発売日)2015 年 4 月 30 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2015 年 4 月 30 日に『日本が在日米軍を買収し第七艦隊を吸収・合併する日』を発売いたしました。

オバマ外交の失敗により、アジア支配が現実となりつつある中国。中露が接近する一方、米軍基地の撤退により「日中戦争」も避けられない事態になってきました。戦後70年がたち日米安保の根底が揺らぎ始めた今、日本が備え、取るべき戦略シナリオをチャイナウォッチャーの第一人者が解説致します。



プロローグ 米軍撤退で日本に戦争を仕掛ける中国

第1章 戦後最大の危機—中国との戦争がはじまる

第2章 世界サイバー戦争—ハッカー大戦争の戦勝国は中国・ロシア・北朝鮮

第3章 核攻撃の脅威—米国との核シェアで対抗

第4章 中国包囲網の構築—「親日国」台湾・インド、カギをにぎる中央アジア

第5章 内部崩壊の画策—エスカレートする中国の権力闘争を逆利用

第6章 中露分断工作—ロシアを取り込む絶好のチャンス

第7章 日本国家の自立自尊—世界に尊敬されたかつての日本人に学べ

エピローグ 戦後 70 年を機に東京裁判を再審せよ

宮崎 正弘(みやざき まさひろ)

評論家、作家。昭和 21(1946)年、石川県金沢生まれ。早稲田大学中退。「日本学生新聞」編集長、雑誌『浪漫』企画室長を経て、貿易会社を経営。昭和 57(1982)年、『もうひとつの資源戦争』(講談社)で論壇デビュー。国際政治、経済などをテーマに独自の取材で情報を解析する評論を展開。中国ウォッチャーとしても知られ、全 33 省を踏破、近年はアジア諸国の取材に集中している。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当:松矢

〒 162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982

TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603